



ハイポネックス粉末液肥

N P K
WSF 30-10-10 + 微量元素

各種微量元素を含む高純度粉末液肥です。
窒素を多く含み、窒素供給が経済的です。
尿素を多く含むため、葉面散布としてもお勧めです。

[登録保証値]	30-10-10		
・窒素全量	30.0	%
内 アンモニア性窒素	1.8	%
硝酸性窒素	2.8	%
・水溶性りん酸	10.0	%
・水溶性加里	10.0	%
・水溶性苦土	0.05	%
・水溶性マンガ	0.030	%
・水溶性ほう素	0.050	%

その他成分

・鉄 (Fe)	0.0845	%
・銅 (Cu)	0.0043	%
・亜鉛 (Zn)	0.0034	%
・モリブデン (Mo)	0.0007	%

商品名	WSF 30-10-10
正味重量	10kg
施肥面積 (1袋)	約10,000~2,000m ²

WSFは Water Soluble Fertilizer(水溶性肥料)の略です



[特長]

- ゴルフ場のグリーン、ティー、競技場、公園緑地、校庭緑化などの芝生に使えます。
- 速効性の水溶性窒素を供給し、芝生の葉色を素早く鮮やかにします。
また窒素成分は、尿素の配合割合が高いため葉面吸収にも優れます。
- 各種微量元素が、芝生のストレスからの回復を助け健全な生育を促します。
- 溶解性が高く、沈殿しにくいので散水ノズルの目詰まりも少なく作業性に優れています。
少水量・高濃度施用にも適応します。(1 m²あたりに施用する希釈液の水量が30~100ml)

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
***根から吸収させる場合** 1㎡当りの施肥量は1gから5gで、希釈液を1㎡当り60ml～500ml 散布します。
 1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
***葉面散布の場合** 1㎡当りの施肥量は1.0g～3.0gで、希釈液を1㎡当り30ml～60ml 噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
 霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。

[希釈方法]

1. 予め原液を作って肥料を完全に溶かします。原液は5倍以上で希釈すると溶けやすくなります。
 水温が低いと肥料が溶けにくい場合がありますが、ぬるま湯を使用すると容易に溶けます。
2. タンク内で原液と水を混合して使用濃度に調整します。

[施肥をおすすめする時期]

春	梅雨前	夏	秋	冬
◎	◎	◎ *注1	◎	△ *注2

*注1 特にベント芝などの寒地型芝草の夏場の施肥は施肥量を少なくし、必ずお試しのうえご使用ください。

*注2 温暖地で低温でも芝生が生育しているときは施肥可能です。
 霜が降りるような低温時や凍った芝地へは施肥しないでください。

[施肥量]

WSF 30-10-10			1㎡当り 希釈液の散布量							
			葉面散布				根から吸収			
1㎡当り 施肥量	1㎡当り 窒素成分量	1袋当り 施肥面積	40mlの場合		60mlの場合		100mlの場合		500mlの場合	
			倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
1g	0.30g	10,000㎡	40倍	25.0kg	60倍	16.6kg	100倍	10.0kg	500倍	2.0kg
2g	0.60g	5,000㎡	20倍	50.0kg	30倍	33.3kg	50倍	20.0kg	250倍	4.0kg
3g	0.90g	3,330㎡	13倍	75.0kg	20倍	50.0kg	33倍	30.0kg	166倍	6.0kg
4g	1.20g	2,500㎡	—	—	15倍	66.6kg	25倍	40.0kg	125倍	8.0kg
5g	1.50g	2,000㎡	—	—	12倍	83.3kg	20倍	50.0kg	100倍	10.0kg

表の見方: 窒素0.60g/㎡を施肥するには、WSF30-10-10が2g/㎡必要です。

希釈液500ml/㎡散布の場合、250倍に希釈します。

注意: ①根から吸収させる施肥で、1㎡当り60～100mlの少量水・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに散水を行なってください。
 また、必ずお試しのうえ、お使いください。

⚠ 注意

- 食べ物ではありません。食べないでください。
- 子どもの手の届かないところ、ペット類が触れないところに保管してください。
- 目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 作業終了後は手や顔等を洗い、うがいをしてください。
- 施肥量、施肥濃度は目安ですので、お試しのうえお使いください。
 施肥量、施肥濃度は芝生の種類、生育状況、気象条件、用土、灌水方法、踏圧などにより異なります。
- 使用後は密封し、直射日光や湿気を避けて保管してください。
- 農薬との混合は、混合液が白濁、沈殿が発生していないか(散布機器の詰まりや肥効の衰えの原因)、散布後の芝生に薬害の有無を確認など必ずお試しのうえ、安全を確かめてからお使いください。
- 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混合は行わないこと。
- 強いアルカリ資材(石灰類など)とは、混合しないでください。
- 製品の性質上、いくぶん色合いが異なったり固まることがあります。
- 使用済みの空袋は放置せず適切に廃棄してください。